

長野県短期大学付属幼稚園の閉園について（案）

教育総務課

1 閉園の時期

平成28年度末（平成29年3月末）

2 閉園とする理由

- (1) 平成15年以降、園児の減少が続いており、定員の充足率は6割未満となっている。
- (2) 現在の園舎は昭和40年の建築で老朽化が進んでいる。

3 入園児の募集

平成26年4月の入園児を最後に募集停止とする。
ただし、平成27年度は4歳児及び5歳児、平成28年度は5歳児の転園を受け入れる。

4 今後の予定

付属幼稚園を閉園するため、長野県短期大学条例を改正し長野県短期大学付属幼稚園規則（教育委員会規則）の廃止等を行う。

5 その他

- (1) 付属幼稚園は県短期大学生の教育実習施設としての役割を担っているが、教育実習先については外部の幼稚園の協力を得て確保が可能である。
- (2) 付属幼稚園が所在する県短期大学の敷地内において、今後、新県立大学の建設工事が始まることが想定されるので、園児の安全確保及び教育環境の維持に万全を期するため、園舎を近隣に移転することを含めた検討を行う予定。

(参考) 保護者への説明会等の経緯

平成25年

2月 県短期大学から保護者に対する説明会(計3回)

〔・平成25年4月の入園児を最後に募集停止(平成28年3月閉園)とする方針について説明〕

3月 保護者との話し合い(計3回)

4月9日 保護者から準備室への申入れ(知事あての手紙、署名等持参)

5月～8月 保護者との話し合い(計8回)

9月4日 保護者から知事あて要望書が提出される

〔・平成26年まで園児を募集し、平成28年度末まで閉園を延期すること
・新県立大学の建設工事の悪影響を避けるため園舎を移転すること〕

※ 付属幼稚園の存続を含め様々な意見があったが、上の2点に意見集約された。

9月 保護者との話し合い(計2回)

9月25日 9月定例会一般質問において、太田昌孝議員の質問に対し、知事から募集停止の1年延期及び幼稚園の移転を含めた安全確保・教育環境の維持について答弁

10月1日 保護者に対し、募集停止の1年延期及び幼稚園の移転を含めた安全確保・教育環境の維持の方針について説明